

2025年3月31日

各位

会社名 株式会社フロンティアインターナショナル
代表者名 代表取締役社長 河村 康宏
(コード：7050、グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 清水 紀年
(TEL. 03-5778-3500)

株式会社ヴァンクラフトの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2025年3月31日の経営会議において、以下のとおり、株式会社ヴァンクラフトの株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。なお、本件により当該子会社の資本金が、当社資本金の10%以上に相当するため、当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 株式の取得の理由

当社グループは「人の創造力と実現力で、未来の可能性を切り拓く」というミッションを通じて、「心の豊かさを分かち合える生きる喜びに満ちた世界の実現」を目指しております。

当社の事業は、ソリューションの幅を広げつつ、いかに最新かつ最先端のコンテンツをイベントに実装できるか、それらが統合的にプランニングされているかが事業の競争優位性に直結するため、M&Aによって当社グループの情報感度をさらに高め、事業基盤を一気に拡大させることを重要な戦略としております。

株式会社ヴァンクラフトは、コンセプトメイクからアウトプットまでを、デジタルを中心としたプロモーションやグラフィック、映像、キャンペーンサイト、ECサイトなどさまざまな手法を用いてクライアントの課題を解決するデジタルマーケティング支援事業を展開する企業となります。

当社グループの既存の主力事業である企業の商業イベントの企画・制作は、人に依存する労働集約要素の強いビジネスですが、当社グループでは、労働集約の対極にあるデジタル技術、デジタルマーケティング機能の拡大をも同時に進めることで、事業の裾野を拡大させ、当社グループのソリューションレベルを一気に引き上げることを重要な戦略に据えております。株式会社ヴァンクラフトの事業が当社グループの事業領域の拡大及び更なる付加価値の向上に親和性が高いと判断したことから、今回の株式取得に至ったものであります。

2. 異動する子会社（株式会社ヴァンクラフト）の概要

(1) 名 称	株式会社ヴァンクラフト			
(2) 所 在 地	東京都港区六本木七丁目2番29号 VORT 乃木坂13F			
(3) 代表者の役職・氏名	榎本 有司			
(4) 事 業 内 容	デジタルマーケティング支援事業			
(5) 資 本 金	10百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1989年7月20日			
(7) 大株主及び持株比率	榎本 有司 80% 榎本 桂子 10% 前川 英樹 10%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
	純 資 産	△6,886千円	△2,563千円	6,896千円
	総 資 産	321,295千円	264,292千円	256,212千円
	1株当たり純資産	△34,431円58銭	△12,819円79銭	34,480円15銭
	売 上 高	524,039千円	453,225千円	400,604千円
	営 業 利 益	△13,163千円	△21,157千円	△44,830千円
	経 常 利 益	△219千円	2,173千円	9,641千円
	当 期 純 利 益	△1,567千円	4,162千円	9,549千円
	1株当たり当期純利益	△7,836円61銭	20,811円79銭	47,749円94銭
	1株当たり配当金	－円	－円	－円

3. 株式取得の相手先の概要

当事者間の秘密保持の合意に基づき非開示としています。ただし、相手先と当社との間に資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者への該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	一株 (議決権の数：一個) (議決権所有割合：－%)
(2) 取 得 株 式 数	180株 (議決権の数：180個)
(3) 取 得 価 額	株式会社ヴァンクラフトの普通株式 30百万円
(4) 異動後の所有株式数	180株 (議決権の数：180個) (議決権所有割合：90%)

5. 日 程

(1) 経営会議決議日	2025年3月31日
(2) 契約締結日	2025年3月31日
(3) 株式譲渡実行日	2025年4月30日(予定)

6. 今後の見通し

本件株式取得により、株式会社ヴァンクラフトは当社の連結子会社となる見込みですが、同社の子会社化に伴う当社連結業績への取り込みについては、第4四半期からとなる見込みです。

当社の2025年4月期連結業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。